



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和7年度

筑後川下流右岸農地防災事業

三田川線調査設計業務

# 積算書

(当初)

九州農政局  
筑後川下流右岸農地防災事業所













事業名 筑後川下流右岸農地防災事業					
業務名 三田川線調査設計業務					
業務別業務名:三田川線調査設計業務(設計業務)					
名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接人件費				8,509,000	
・直接人件費	1.000	式		8,509,000	
・・・直接人件費	1.000	式		8,509,000	
・・・設計作業費	1.000	式	255,000	255,000	1式当たり
S63007 詳細調査	1.000	式	254,970	254,970	歩A・単A S単 16号
合 計				254,970	
・・・設計作業費	1.000	式	7,052,000	7,052,000	1式当たり
S63003 資料の検討	1.000	式	96,280	96,280	歩A・単A S単 1号
S63003 排水路タイプ及び断面形状の検討	1.000	式	207,900	207,900	歩A・単A S単 2号
S63003 縦断面検討(線形計画)	1.000	式	2,556,450	2,556,450	歩A・単A S単 3号
S63003 斜面安定計算	1.000	式	259,440	259,440	歩A・単A S単 4号
S63003 構造図作成	1.000	式	744,730	744,730	歩A・単A S単 5号
S63003 平面縦断面図作成	1.000	式	1,119,830	1,119,830	歩A・単A S単 6号
S63003 土工図作成	1.000	式	447,390	447,390	歩A・単A S単 7号
S63003 数量計算	1.000	式	392,400	392,400	歩A・単A S単 8号
S63003 施工計画検討	1.000	式	1,174,170	1,174,170	歩A・単A S単 9号
S63003 総合検討	1.000	式	53,520	53,520	歩A・単A S単 10号
合 計				7,052,110	
・・・設計作業費	1.000	式	134,000	134,000	1式当たり
S63003 照査	1.000	式	133,800	133,800	歩A・単A S単 11号
合 計				133,800	
・・・設計作業費	1.000	式	215,000	215,000	1式当たり
S63003 点検とりまとめ	1.000	式	214,540	214,540	歩A・単A S単 12号
合 計				214,540	
・・・設計作業費	1.000	式	236,000	236,000	1式当たり
S63003 土質定数の設定	1.000	式	54,090	54,090	歩A・単A S単 13号
S63003 総合検討	1.000	式	181,850	181,850	歩A・単A S単 14号
合 計				235,940	
・・・打合せ(設計)	1.000	式	439,000	439,000	1式当たり
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.26日	2.000	回	96,140	192,280	歩A・単A S単 18号
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.26日	3.000	回	82,156	246,468	歩A・単A S単 19号
合 計				438,748	
・・・設計基準日額 照査	1.000	式	25,000	25,000	1式当たり
S63010 照査 一般工種,着手前・最終,0.50人,0.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.26日	1.000	回	25,422	25,422	歩A・単A S単 20号
合 計				25,422	
・・・設計基準日額 合同現地踏査	1.000	式	42,000	42,000	1式当たり





事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	三田川線調査設計業務

業務別業務名:三田川線調査設計業務(設計業務)

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	*** S単 - 1号 *** 資料の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	96,280		歩A・単A
S63003	*** S単 - 2号 *** 排水路タイプ及び断面形状の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	207,900		歩A・単A
S63003	*** S単 - 3号 *** 縦断面検討(線形計画) 設計労務(直接人件費内業)		式	2,556,450		歩A・単A
S63003	*** S単 - 4号 *** 斜面安定計算 設計労務(直接人件費内業)		式	259,440		歩A・単A
S63003	*** S単 - 5号 *** 構造図作成 設計労務(直接人件費内業)		式	744,730		歩A・単A
S63003	*** S単 - 6号 *** 平面縦断面図作成 設計労務(直接人件費内業)		式	1,119,830		歩A・単A
S63003	*** S単 - 7号 *** 土工図作成 設計労務(直接人件費内業)		式	447,390		歩A・単A
S63003	*** S単 - 8号 *** 数量計算 設計労務(直接人件費内業)		式	392,400		歩A・単A
S63003	*** S単 - 9号 *** 施工計画検討 設計労務(直接人件費内業)		式	1,174,170		歩A・単A
S63003	*** S単 - 10号 *** 総合検討 設計労務(直接人件費内業)		式	53,520		歩A・単A
S63003	*** S単 - 11号 *** 照査 設計労務(直接人件費内業)		式	133,800		歩A・単A
S63003	*** S単 - 12号 *** 点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	214,540		歩A・単A
S63003	*** S単 - 13号 *** 土質定数の設定 設計労務(直接人件費内業)		式	54,090		歩A・単A
S63003	*** S単 - 14号 *** 総合検討 設計労務(直接人件費内業)		式	181,850		歩A・単A
S63003	*** S単 - 15号 *** 公開用成果品作成費 設計労務(直接人件費内業)		式	18,050		歩A・単A
S63007	*** S単 - 16号 *** 詳細調査 設計労務(直接人件費外業)		式	254,970		歩A・単A
S63007	*** S単 - 17号 *** 現地調査 設計労務(直接人件費外業)		式	110,640		歩A・単A
S63010	*** S単 - 18号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.26日		回	96,140		歩A・単A
S63010	*** S単 - 19号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.26日		回	82,156		歩A・単A
S63010	*** S単 - 20号 *** 照査 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,0.50人,0.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.26日		回	25,422		歩A・単A
S63010	*** S単 - 21号 *** 合同現地踏査 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,0.50人,0.00人,0.50人,0.00人,0.5日,0.22日		回	41,544		歩A・単A
S63011	*** S単 - 22号 *** 打合せ(設計旅費・交通費)					



事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	三田川線調査設計業務

業務別業務名:三田川線調査設計業務(設計業務)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
S63003	資料の検討 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.10人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.40人				
	5)技師Bの人数	0.80人				
	6)技師Cの人数	0.40人				
	7)技術員の人数	0.30人				
R04003	主任技師	0.100	人	66,900	6,690	
R04004	技師(A)	0.400	人	59,600	23,840	
R04005	技師(B)	0.800	人	48,500	38,800	
R04006	技師(C)	0.400	人	40,300	16,120	
R04007	技術員	0.300	人	36,100	10,830	
	合計				96,280	算出数量 1,000 式
	単価		式		96,280	
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	排水路タイプ及び断面形状の検討 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.30人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	1.60人				
	6)技師Cの人数	1.10人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04003	主任技師	0.300	人	66,900	20,070	
R04004	技師(A)	0.500	人	59,600	29,800	
R04005	技師(B)	1.600	人	48,500	77,600	
R04006	技師(C)	1.100	人	40,300	44,330	
R04007	技術員	1.000	人	36,100	36,100	
	合計				207,900	算出数量 1,000 式
	単価		式		207,900	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	縦断面検討(線形計画) 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	6.10人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	14.30人				
	5)技師Bの人数	10.50人				
	6)技師Cの人数	7.70人				
	7)技術員の人数	13.20人				
R04003	主任技師	6.100	人	66,900	408,090	
R04004	技師(A)	14.300	人	59,600	852,280	
R04005	技師(B)	10.500	人	48,500	509,250	
R04006	技師(C)	7.700	人	40,300	310,310	
R04007	技術員	13.200	人	36,100	476,520	
	合計				2,556,450	算出数量 1,000 式

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	三田川線調査設計業務

業務別業務名:三田川線調査設計業務(設計業務)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		式		2,556,450	
	*** S単 - 4号 ***					
S63003	斜面安定計算 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.40人				
	5)技師Bの人数	2.40人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師(A)	2.400	人	59,600	143,040	
R04005	技師(B)	2.400	人	48,500	116,400	
	合 計				259,440	算出数量 1,000 式
	単 価		式		259,440	
	*** S単 - 5号 ***					
S63003	構造図作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.60人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.50人				
	5)技師Bの人数	5.20人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	4.90人				
R04003	主任技師	1.600	人	66,900	107,040	
R04004	技師(A)	3.500	人	59,600	208,600	
R04005	技師(B)	5.200	人	48,500	252,200	
R04007	技術員	4.900	人	36,100	176,890	
	合 計				744,730	算出数量 1,000 式
	単 価		式		744,730	
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	平面縦断図作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.50人				
	5)技師Bの人数	6.50人				
	6)技師Cの人数	6.50人				
	7)技術員の人数	4.30人				
R04004	技師(A)	6.500	人	59,600	387,400	
R04005	技師(B)	6.500	人	48,500	315,250	
R04006	技師(C)	6.500	人	40,300	261,950	
R04007	技術員	4.300	人	36,100	155,230	
	合 計				1,119,830	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,119,830	
	*** S単 - 7号 ***					

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	三田川線調査設計業務

業務別業務名:三田川線調査設計業務(設計業務)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	土工図作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.90人				
	6)技師Cの人数	3.30人				
	7)技術員の人数	7.50人				
R04005	技師(B)	0.900	人	48,500	43,650	
R04006	技師(C)	3.300	人	40,300	132,990	
R04007	技術員	7.500	人	36,100	270,750	
	合計				447,390	算出数量 1.000 式
	単価		式		447,390	
	*** S単 - 8号 ***					
S63003	数量計算 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	2.20人				
	6)技師Cの人数	2.70人				
	7)技術員の人数	4.90人				
R04005	技師(B)	2.200	人	48,500	106,700	
R04006	技師(C)	2.700	人	40,300	108,810	
R04007	技術員	4.900	人	36,100	176,890	
	合計				392,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		392,400	
	*** S単 - 9号 ***					
S63003	施工計画検討 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.70人				
	4)技師Aの人数	4.40人				
	5)技師Bの人数	7.20人				
	6)技師Cの人数	7.20人				
	7)技術員の人数	4.40人				
R04003	主任技師	1.700	人	66,900	113,730	
R04004	技師(A)	4.400	人	59,600	262,240	
R04005	技師(B)	7.200	人	48,500	349,200	
R04006	技師(C)	7.200	人	40,300	290,160	
R04007	技術員	4.400	人	36,100	158,840	
	合計				1,174,170	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,174,170	
	*** S単 - 10号 ***					
S63003	総合検討 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	時間的制約:なし					
	夜間制約作業時間:0.0					
	制約作業時間:0.0					
	冬期補正:なし					
	豪雪補正:なし					
	基本給時間:8.0					
	深夜時間:0.0					
	亜熱帯補正:なし					
	超勤時間:0.0					

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	三田川線調査設計業務

業務別業務名:三田川線調査設計業務(設計業務)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.80人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		0.800	人	66,900	53,520	
	合計				53,520	算出数量 1.000 式
	単価		式		53,520	
	*** S単 - 11号 ***					
S63003	照査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	66,900	133,800	
	合計				133,800	算出数量 1.000 式
	単価		式		133,800	
	*** S単 - 12号 ***					
S63003	点検とりまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.80人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.80人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	1.20人				
	7)技術員の人数	1.80人				
R04003	主任技師					
		0.800	人	66,900	53,520	
R04004	技師(A)					
		0.800	人	59,600	47,680	
R04006	技師(C)					
		1.200	人	40,300	48,360	
R04007	技術員					
		1.800	人	36,100	64,980	
	合計				214,540	算出数量 1.000 式
	単価		式		214,540	
	*** S単 - 13号 ***					
S63003	土質定数の設定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.30人				
	5)技師Bの人数	0.30人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.60人				
R04004	技師(A)					
		0.300	人	59,600	17,880	
R04005	技師(B)					
		0.300	人	48,500	14,550	
R04007	技術員					
		0.600	人	36,100	21,660	

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	三田川線調査設計業務

業務別業務名: 三田川線調査設計業務 (設計業務)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				54,090	算出数量 1.000 式
	単価		式		54,090	
	*** S単 - 14号 ***					
S63003	総合検討 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	0.50人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	1.00人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	1.00人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師(C)	1.000	人	40,300	40,300	
	合計				181,850	算出数量 1.000 式
	単価		式		181,850	
	*** S単 - 15号 ***					
S63003	公開用成果品作成費 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	0.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	0.00人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	0.00人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04007	技術員	0.500	人	36,100	18,050	
	合計				18,050	算出数量 1.000 式
	単価		式		18,050	
	*** S単 - 16号 ***					
S63007	詳細調査 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	0.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	1.60人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	2.10人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	1.60人				
R04004	技師(A) 外業	1.600	人	59,600	95,360	
R04005	技師(B) 外業	2.100	人	48,500	101,850	
R04007	技術員 外業	1.600	人	36,100	57,760	
	合計				254,970	算出数量 1.000 式
	単価		式		254,970	
	*** S単 - 17号 ***					
S63007	現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	三田川線調査設計業務

業務別業務名:三田川線調査設計業務(設計業務)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	設計労務(直接人件費外業)					
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	0.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	0.70人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	0.90人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.70人				
R04004	技師(A) 外業	0.700	人	59,600	41,720	
R04005	技師(B) 外業	0.900	人	48,500	43,650	
R04007	技術員 外業	0.700	人	36,100	25,270	
	合計				110,640	算出数量 1,000式
	単価		式		110,640	
	*** S単 - 18号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.26日					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	1)設計工種	一般工種				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	2)打合せ	着手前・最終				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	3)設計用主任技師人数	1.00人				深夜時間:0.0
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.260日				
R04003	主任技師	0.760	人	66,900	50,844	
R04004	技師(A)	0.760	人	59,600	45,296	
	合計				96,140	算出数量 1,000回
	単価		回		96,140	
	*** S単 - 19号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.26日					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	1)設計工種	一般工種				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	2)打合せ	中間				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	3)設計用主任技師人数	0.00人				深夜時間:0.0
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.260日				
R04004	技師(A)	0.760	人	59,600	45,296	
R04005	技師(B)	0.760	人	48,500	36,860	
	合計				82,156	算出数量 1,000回
	単価		回		82,156	
	*** S単 - 20号 ***					
S63010	照査		回		1,000回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,0.50人,0.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.26日					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	1)設計工種	一般工種				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	2)打合せ	着手前・最終				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	3)設計用主任技師人数	0.50人				深夜時間:0.0
	4)設計用技師(A)人数	0.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				

事業名 筑後川下流右岸農地防災事業						
業務名 三田川線調査設計業務						
業務別業務名:三田川線調査設計業務(設計業務)						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.260日				
R04003	主任技師		0.380	人	66,900	25,422
	合計					算出数量 1,000 回
	単価			回		25,422
	*** S単 - 21号 ***					
S63010	合同現地踏査			回		1,000 回 歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	一般工種,着手前・最終,0.50人,0.00人,0.50人,0.00人,0.5日,0.22日				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	1)設計工種	一般工種			深夜時間:0.0	
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	0.50人				
	4)設計用技師(A)人数	0.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.50人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.220日				
R04003	主任技師		0.360	人	66,900	24,084
R04005	技師(B)		0.360	人	48,500	17,460
	合計					算出数量 1,000 回
	単価			回		41,544
	*** S単 - 22号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)			回		1,000 回 歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費)				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,2時間				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務			深夜時間:0.0	
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.26日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	ライトバン				
	11)高速道路往復料金(税別)	2,962円				
	12)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	2時間				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54301	高速道路等料金		1,000	式	2,962	2,962
M28121	消費税抜き					
M28121	イトン[ガリエンジン二輪駆動]		1,000	日	1,650	1,650
	乗車定員5名 排気量1.5L					
P34001	ガソリン		5.400	L	166	896
	JIS2号 レギュラースタンド					
	合計					算出数量 1,000 回
	単価			回		5,508
	*** S単 - 23号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)			回		1,000 回 歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費)				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,ライトバン,1日,2時間				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務			深夜時間:0.0	
	2)打合せ内容	中間				

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	三田川線調査設計業務

業務別業務名:三田川線調査設計業務(設計業務)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.26日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	ライトバン				
	11)高速道路往復料金(税別)	2,962円				
	12)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	2時間				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	2,962	2,962	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,650	1,650	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	5.400	L	166	896	
	合計				5,508	算出数量 1.000 回
	単価		回		5,508	
	*** S単 - 24号 ***					
S63018	旅費交通費(設計外業日帰用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,1日,2時間					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)交通機関区分	ライトバン				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)高速道路往復料金(税別)	2,962円				
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	1日				
	8)時間区分	2時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	0.000日				
	11)設計用技師A外業日数	0.000日				
	12)設計用技師B外業日数	0.000日				
	13)設計用技師C外業日数	0.000日				
	14)設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	2,962	2,962	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,650	1,650	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	5.400	L	166	896	
	合計				5,508	算出数量 1.000 式
	単価		式		5,508	
	*** S単 - 25号 ***					
S63018	旅費交通費(設計外業日帰用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,2日,2時間					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)交通機関区分	ライトバン				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)高速道路往復料金(税別)	2,962円				
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	2日				
	8)時間区分	2時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	0.000日				
	11)設計用技師A外業日数	0.700日				
	12)設計用技師B外業日数	0.900日				
	13)設計用技師C外業日数	0.000日				
	14)設計用技術員外業日数	0.700日				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	2.000	式	2,962	5,924	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,650	3,300	

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	三田川線調査設計業務

業務別業務名:三田川線調査設計業務(設計業務)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	166	1,793	
	合計				11,017	算出数量 1.000 式
	単価		式		11,017	
	*** S単 - 26号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A - 4, 1000, 10cm, 0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格区分	A - 4		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)枚数区分(枚)	1000		深夜時間:0.0		
	4)厚さ区分	10cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43504	報告書焼付代(コピー) A - 4以下 1000枚	1.000	部	12,700	12,700	
P43544	簡易加除式ファイル A 4 縦型幅10cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	789	789	
P43602	C D - R C D - R (記録面色素フタロシアニン) 7 0 0 MB	0.000	枚	47	0	
	合計				13,489	算出数量 1.000 式
	単価		式		13,489	















事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	三田川線調査設計業務

業務別業務名:三田川線調査設計業務(調査業務)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
S62033	【サウンディング及び原位置試験】 【サウンディング及び原位置試験】 ポータブルコーン貫入試験 二重管式 GL-5m以内、		m		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	1)施工区分 2)規格区分	ポータブルコーン貫入試験 二重管式 GL-5m以内			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
A30085	ポータブルコーン貫入試験 二重管式 GL-5m以内	1.000	m	5,940	5,940	
	合計				5,940	算出数量 1.000 [各単位]
	単価		[各単位]		5,940	
R04041	地質調査技師 外業	0.030	人	56,000	1,680	
R04042	主任地質調査員 外業	0.070	人	43,800	3,066	
R04043	地質調査員 外業	0.070	人	34,100	2,387	
	*** S単 - 2号 ***					
S63009	調査労務(直接人件費外業) 調査労務(直接人件費外業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)地質調査技師の人数 2)主任地質調査員の人数 3)地質調査員の人数	0.20人 0.40人 0.40人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
R04041	地質調査技師 外業	0.200	人	56,000	11,200	
R04042	主任地質調査員 外業	0.400	人	43,800	17,520	
R04043	地質調査員 外業	0.400	人	34,100	13,640	
	合計				42,360	算出数量 1.000 式
	単価		式		42,360	

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	三田川線調査設計業務

業務別業務名:三田川線調査設計業務(調査業務)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** X単 - 1号 ***					
X63006	旅費交通費(調査外業日帰用) 旅費交通費(調査外業日帰用) ライトバン,2日,2時間		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)交通機関区分	ライトバン		時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)高速道路往復料金(税別)	2,962円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円		深夜時間:0.0		
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数	2日				
	8)時間区分	2時間				
	9)地質調査技師外業日数	0.680日				
	10)主任地質調査員外業日数	1.520日				
	11)地質調査員外業日数	1.520日				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	2,000	式	2,962	5,924	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2,000	日	1,650	3,300	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10,800	L	166	1,793	
	合計				11,017	算出数量 1,000 式
	単価		式		11,017	

令和 7 年度筑後川下流右岸農地防災事業  
三田川線調査設計業務

特別仕様書

九州農政局

筑後川下流右岸農地防災事業所



## 第1章 総 則

### (適用範囲)

#### 第1-1条

令和7年度筑後川下流右岸農地防災事業 三田川線調査設計業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「地質・土質調査業務共通仕様書」及び「設計業務共通仕様書」によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

### (目 的)

#### 第1-2条

この業務は、国営筑後川下流右岸農地防災事業計画に基づき計画されているクリーク法面整備工事のため三田川線の土質調査及び実施設計を行うものである。

### (場 所)

#### 第1-3条

この業務において対象とするクリーク法面整備工事は、佐賀県神埼郡吉野ヶ里町地内で別添「業務位置図」に示すとおりである。

### (低入札価格契約における第三者照査)

#### 第1-4条

- (1) 予算決算及び会計令（以下、「予決令」という。）第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合には、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「設計業務共通仕様書第1-7条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査（以下、「第三者照査」という。）を実施しなければならない。
- (2) 第三者の企業に要求される資格
  - 1) 予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当しないこと。
  - 2) 九州農政局において、令和7、8年度（当該業種区分）の一般競争（指名競争）参加資格の受付において申請を行い受理されている者で、開札時まで認定を受けていること。
  - 3) 九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
  - 4) 設計業務共通仕様書第1-30条守秘義務を遵守できるものであること。
  - 5) 中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。
    - ① 資本関係

- (ア) 親会社と子会社の関係にある
- (イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある
- ② 人的関係
  - (ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている
- (3) 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格
  - 第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下のものであること。
    - 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
    - 照査技術者と同等の技術者資格を有する者
- (4) 照査技術者の通知
  - 受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。
- (5) 照査計画
  - 受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。
  - また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。
- (6) 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い
  - 特別仕様書第4-1条業務打合せに示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。
- (7) 第三者照査の照査技術者 AGRIS 登録
  - 設計業務共通仕様書第1-12条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス (AGRIS) の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。
- (8) 契約不適合責任
  - 引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないもの（以下、「契約不適合」という。）であるときは、業務契約書第41条契約不適合責任のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することが出来るものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

## (履行確実性評価の達成状況の確認)

### 第1-5条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目 a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目 d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備 等

## (一般事項)

### 第 1－6 条

業務請負契約書及び各共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施のための土地立ち入り等は、地質・土質調査業務共通仕様書第 16 条及び設計業務共通仕様書第 1-16 条によるが、土地の踏み荒らし、立木伐採等に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。
- (2) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。

## (管理技術者)

### 第 1－7 条

- (1) 管理技術者は、設計業務共通仕様書第 1-6 条第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択項目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に該当する部門	
シビルコンサルティング マネジャー	農業土木	

- (2) 調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

## (照査技術者)

### 第 1－8 条

- (1) 照査技術者は、設計業務共通仕様書第 1-7 条第 2 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択項目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に該当する部門	
シビルコンサルティング マネジャー	農業土木	

(2) 本業務における照査は、「設計業務照査の手引書(案)」(以下、「照査手引書」という。)に基づき実施する。

また、「照査手引書」に基づく照査により作成した資料は、設計業務共通仕様書第1-7条第5項に規定する報告書に含めて提出するものとする。

(3) 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

### (担当技術者)

#### 第1-9条

- (1) 担当技術者は、設計業務共通仕様書第1-8条によるものとする。
- (2) 担当技術者は、地質・土質調査業務と合わせ行う場合にあっては、地質・土質調査部門の担当技術者を含むものとする。

### (配置技術者の確認)

#### 第1-10条

設計業務共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び設計業務共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置づけられた技術者を登録対象とする。

### (保険加入)

#### 第1-11条

受注者は、地質・土質調査業務共通仕様書第1-38条及び設計業務共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 作業条件

(適用する図書)

### 第2-1条

設計の基本的事項に関しては、「土地改良事業計画設計基準・設計 水路工（平成26年3月）を優先して適用する。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

(貸与資料)

### 第2-2条

貸与資料は次のとおりである。

番号	分類	貸与資料	数量
①	設計関係資料	令和3年度筑後川下流右岸農地防災事業 三田川線他調査設計業務 報告書	1式
②	設計関係資料	平成30年度筑後川下流右岸農地防災事業 事業促進総合技術業務 報告書	1式
③	設計関係資料	平成25年度筑後川下流右岸農地防災事業 筑後川下流右岸地区(国営)基本設計業務 報告書	1式
④	測量関係資料	令和4年度筑後川下流右岸農地防災事業 深淺測量(東部)業務 報告書	1式
⑤	調査関係資料	平成25年度筑後川下流右岸農地防災事業 筑後川下流右岸地区土質調査業務 報告書	1式
⑥	その他	業務遂行に必要な資料	1式

(貸与資料の取扱い)

### 第2-3条

第2-2条に示す貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 貸与資料の記載事項に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議する。
- (2) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか、完了検査時に一括返納しなければならない。

## 第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

### 第3-1条

作業項目及び数量は、次表のとおりとする。

なお、詳細は別紙－1【作業項目内訳表】で示すものとする。

作業項目	数量	備考
1. 実施設計	L=1.2km	No. 116+15.55～No. 140+35.60
2. 土質調査	L=16.0m	ポータブルコーン貫入試験（二重管式） 2箇所×8.0m

## （設計作業の留意点）

### 第3－2条

設計作業の実施に際し、特に留意する点は以下の通りである。

- (1) 設計作業の実施に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (2) 法面の安定計算を行う断面については、周辺の状況、貸与する既往資料等により断面を選定し設計に反映させるものとする。
- (3) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (4) 第2－1条、第2－2条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (5) 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
- (6) 当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。なお、コスト縮減に関して新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。
  - ・ 農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、  
[http://www.nn-techinfo.jp/mdb\\_web/MbdTop.do](http://www.nn-techinfo.jp/mdb_web/MbdTop.do) を参照
  - ・ 新技術情報システム（NETIS）については、  
<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp> を参照
- (7) 数量計算に当たっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。

なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。

  - ・ 「工事工種の体系化」については、  
[http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi\\_kousyu/](http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/) を参照

## （土質調査作業の留意点）

### 第3－3条

ポータブルコーン貫入試験（二重管式）の試験方法は、地質・土質調査業務共通仕様書

第 5-9 条 2、3 項に基づくものとする。

なお、調査箇所については 300m に 1 箇所（貫入深度は、1 箇所当たり法尻部 5 m、路肩部 3 m の合計 8 m）を想定しているが、現地精査等により調査箇所数及び数量が変更となる場合は、監督職員と協議するものとする。

## （業務の成果品質確保対策）

### 第 3 - 4 条

契約後業務着手時並びに最終打合せ時において、受発注者間の設計方針、条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、管理技術者等の受注者代表は、次の事項並びに「業務の成果品質確保対策」（農林水産省 WEB サイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

#### （1）業務確認会議

業務着手時に、管理技術者・担当技術者並びに事業所長、次長、担当課長、主任監督員（主催）、監督員、工事担当者が、設計方針、条件等の確認を一堂に会して実施することにより、業務の円滑な推進と成果物の品質確保を図るものとする。

1) 業務確認会議とは、発注者及び受注者が集まり、次の事項について確認を行う会議を開催するものである。なお、確認事項については変更する場合がある。

- ・ 設計条件、前提条件
- ・ 業務計画の妥当性
- ・ スケジュール
- ・ 設計変更内容
- ・ その他

2) 会議の開催については、監督職員が指示するものとする。なお、開催時期の変更、開催回数の追加が必要な場合は、監督員と協議するものとし、規定の打合せ時以外に開催する場合の費用については、必要に応じ設計変更で計上する。

#### （2）合同現地踏査

管理技術者・担当技術者並びに事業所長、次長、担当課長、主任監督員（主催）、監督員、工事担当者が、必要に応じて合同で現地踏査を行うことにより、設計条件や施工の留意点、関連事業の情報、設計方針の明確化等、情報共有を図る。

#### （3）照査の確実な実施

業務の最終打合せ時において、成果物のうち照査報告書については、照査を実施した照査技術者自身による報告を原則とする。

また、最終打合せ時以外であっても、必要に応じて、照査技術者自身からの照査報告を実施できるものとする。

（4）当該業務成果における工事発注の際に、別途工事の受発注者が当該工事における「工事の施工効率向上対策」（農林水産省 WEB サイト）による工事円滑化会議及び設計変更確認会議を開催することとしており、同会議に出席要請があった場合には応じるものとする。なお、出席に必要な経費については、別途契約により対応することとする。

- (5) 業務確認会議後において確認した事項については、打合せ記録簿を記録し、相互に確認するものとする。

## (業務写真における黒板情報の電子化)

### 第3-5条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

#### (1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」

(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

#### (2) 機器等の導入

イ 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

ロ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

#### (3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

イ 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

ロ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記イに示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

ハ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

#### (4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時URL(<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>)のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

#### (5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

## 第4章 打合せ

(打合せ)

### 第4-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。  
また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

- 初回 業務着手の段階
- 第2回 中間打合せ（現地調査計画段階）
- 第3回 中間打合せ（設計着手段階）
- 第4回 中間打合せ（とりまとめ段階）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、設計業務共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

## 第5章 成果物

(成果物)

### 第5-1条

成果物を設計業務共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R等）正副2部
- (2) 成果物の出力1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(開示用成果物の作成及び提出)

### 第5-2条

第5-1条に記載している成果物（PDFファイル）に含まれる、行政機関の保有する情報の公開に関する法律における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その個所を黒塗りする措置を行い提出しなければならない。成果物を設計業務共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

なお、「不開示情報」とは、別紙2のとおりである。

- (1) 開示成果物の電子媒体（CD-R等）1部

## (成果物の提出先)

### 第5-3条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

佐賀県神埼市千代田町直鳥 166-1

九州農政局 筑後川下流右岸農地防災事業所

## 第6章 契約変更

### (契約変更)

#### 第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
- (2) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (3) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (4) 履行期間の変更が生じた場合
- (5) 関係機関等対外協議等により設計計画等に変更が生じた場合
- (6) その他

## 第7章 定めなき事項

### (定めなき事項)

#### 第7-1条

この特別仕様書に定めなき事項または本業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

## 【作業項目内訳表】

## 1. 設計作業

作業項目	作業内容	対象数量	
		単位	数量
1. 現地調査			
1-1. 詳細調査	<p>特別仕様書第 2-2 条(貸与資料)の業務にて作成した「現況路線調査図」を基に、施工計画立案のために以下の調査を行うとともに、関係機関等への聞き取り調査(問診調査)を行い、時点の更新を行う。</p> <p>①工事期間中の仮廻し及び用水(ハウス等)、防火用水として使用する水路の調査  ②管理水位の現状確認(管理ゲートの位置、暗渠排水管高さ、堰上げ理由など)  ③工事用進入路の確認(資機材搬入路、通学路、歩車道境界ブロック、電柱、架空線などの支障物件の有無)  ④田面・暗渠排水工  ⑤水路の既設構造物、隣接埋設構造物の状況(近接目視による機能診断含む)  ⑥隣接圃場の畦畔及び進入路位置  ⑦その他</p>	km	1.2
2. 設計			
2-1. 資料の検討	実施設計のための資料収集及び貸与資料の内容を把握する。	km	1.2
2-2. 排水路タイプ及び断面形状の検討	水路タイプ及び実施断面の詳細を決定する。 なお、基本型であるブロックマット工以外の工法が必要となる場合には、監督職員と協議する。	km	1.2
2-3. 縦断面検討(線形計画)	<p>1-1. 詳細調査の②管理水位の現状確認を基に、特別仕様書第 2-2 条(貸与資料)の業務にて計画した縦断面計画(線形計画)の関係図面(平面縦断面図・標準断面図等)について、貸与資料に示す測量成果(深淺測量)を踏まえた検討を行う。</p> <p>なお、断面計画は 50m 間隔測点毎を基本とし、宅地などの既設護岸がある場合には、監督職員と協議する。</p>	km	1.2
2-4. 斜面安定計算	<p>「2-3. 縦断面計画(線形計画)」で検討した断面において、計画法高が最大となる箇所及び家屋前を選定して、以下の各施工段階における斜面の安定計算を行う。</p> <p>①落水時  ②地盤改良時  ③床堀時  ④完成時</p>	断面	3
2-5. 構造図作成	<p>全断面の構造一般図並びに詳細構造図などを作成する。</p> <p>なお、作成する図面は、発注者が別に示す「図面作成要領」を基に、工区毎に関係図面を作成する。</p>	km	1.2
2-6. 平面縦断面図作成	<p>「2-3. 縦断面検討(線形計画)」で作成した平面縦断面図に、貸与資料に示す測量成果(深淺測量)において 50m 間隔測点で実施した中心線、縦横断面測量の情報を反映し、全タイプの位置及び断面の表示、タイプ区分を記載するとともに、1-1. 詳細調査の内容を踏まえ、安全施設、管理施設等を記入する。</p> <p>なお、作成する図面は、発注者が別に示す「図面作成要領」を基に、工区毎に関係図面を作成する。</p>	km	1.2
2-7. 土工図作成	<p>特別仕様書第 2-2 条(貸与資料)に示す測量成果(深淺測量)及び「2-6. 縦断面計画(線形計画)」を踏まえた土工図を作成する。</p> <p>また、土工横断面図、施工方法区分(単価区分)毎の切盛土量、法面保護工長</p>	km	1.2

	等を記入する。 なお、作成する図面は、発注者が別に示す「図面作成要領」を基に、工区毎に関係図面を作成する。		
2-8. 数量計算	2-9 施工計画検討を踏まえ、工区毎、施工方法区分毎、タイプ毎に詳細数量計算を行う。	k m	1.2
2-9. 施工計画検討	以下に示す項目を踏まえ工区割りを行い、施工順序、施工方法、工程計画を立案する。 工区毎に発注者が別に示す「図面作成要領」を基に関係図面を作成する。  ①工事実施時期の排水量の算出 ②水路仮締切計画 ③仮廻し水路計画 ④用水対策計画 ⑤工事用道路進入計画 ⑥仮設道路等計画 ⑦借地計画 ⑧その他、工事に必要な施工計画	k m	1.2
2-10. 総合検討	上記の各作業について総合的に検討する。	k m	1.2
3. 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	業務	1
4. 点検とりまとめ	点検とりまとめ及び報告書の作成を行う。	k m	1.2

## 2. 土質調査

作業項目	作業内容	対象数量	
		単位	数量
1. 調査			
1-1. ポータブルコーン貫入試験	ポータブルコーン貫入試験を行う。(二重管式)	m	16.0
2. 設計			
2-1. 土質グルーピング区域毎の土質定数の設定	特別仕様書第2-2条(貸与資料)「平成25年度筑後川下流右岸農地防災事業筑後川下流右岸地区土質調査業務」の土質グルーピングは広域的な範囲を区域毎に整理している。本業務で実施する施工検討路線のポータブルコーン貫入試験結果を、グルーピング内の既存資料(土質柱状図等)と照らし、土質定数を設定する。	路線	1
3. 総合検討	上記の作業について総合的に検討する。	式	1

不開示とする情報	該当項目	該当条項
個人に関する情報及び法人その他団体に関する情報	<p>記述等により特定の個人を識別することができる情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受注者氏名</li> <li>・ 個人及び会社の印影</li> <li>・ 各種調査結果に記載された調査員等の氏名</li> <li>・ 打合せ議事録等の発注者以外の氏名及び組織名</li> <li>・ 函面等に記載された地番、所有者等の氏名、住所等</li> <li>・ 顔写真</li> <li>・ 技術提案書等の当該法人の知的財産に関する情報</li> <li>・ IP アドレス等機器の接続情報</li> <li>・ その他（公にすることにより個人、会社の権利利益を害する恐れのある情報）</li> </ul>	行政機関の保有する情報の公開に関する法律第5条第一号及び第二号イ

